

保育計画(新規事業計画)成果報告書

法人名等	学校法人秋本学園
施設名	認定こども園 浦和つくし幼稚園
報告者（役職）	秋本 康宏（園長）
住所・連絡先	埼玉県さいたま市南区辻 4 丁目 8-7
	☎ 048-837-1152 E-mail akimotogakuen@gmail.com

○タイトル（保育計画）

『「サステナブル」ってなあに？ ～これからを生きる子どもたちへ～』

○主な助成備品

生ごみ処理機一式

1. 保育計画(新規事業計画)策定の目的

昭和 48 年 4 月に開園し創立 52 年を迎える園である本園は、令和 5 年 4 月より、幼稚園型認定こども園として運営をスタートしており、これまでの幼稚園運営で培った幼児教育をさらに充実させ、就労の有無に関わらず質の高い教育・保育を提供できる施設を目指しています。

しなやかで強い「こころ」、最後まであきらめず頑張れる「からだ」、自分で考え学ぶ「あたま」を育むことを目指し、そして、それらの学びを支える基礎としての「食育」にも取り組むことを考えています。

認定こども園としてスタートするにあたり、自園調理での給食提供を実現するために給食室を整備し、子どもたちが食べることが楽しみになるような給食の提供を目指し、工夫を凝らした献立、温かい食事の提供など、子どもたちの笑顔溢れる食事風景に自園給食を始めてよかったと思っていますが、その反面、給食の際に出てしまう残食に、本園として心を痛めていました。

この残食を使って有機肥料を作る取り組みがあることを知り、本園でもこの取り組みを導入できたらと考え、保育計画を策定いたしました。



2. 具体的な実施内容

残食を栄養ある有機肥料にするため、園内に乾燥式生ごみ処理機を設置し、処理機でできた有機肥料は園庭内の菜園に使用しています。

残食でできた有機肥料は、化学肥料と異なり土壌の健康を保ち微生物の活動を促進し、土壌中の栄養素を増やすことができます。また有機肥料は土壌中の栄養素を長期間にわたって放出するため、作物は必要な栄養素を効率的に吸収します。

このような仕組みは野菜の栄養価を高める効果があるとされています。菜園活動は、子どもたちにとって五感を刺激する楽しみの詰まった体験型活動です。数多くの子どもたちが、野菜の成長にふれあい、有機肥料を使った野菜を収穫し楽しんでいきます。

3. その成果と評価

幼稚園給食の残食を肥料にする取り組みは、食品ロス削減につながるだけでなく、持続可能な社会の実現にもつながります。

将来の世代が、幼少期から SDGs の考え方や課題を学ぶことは、貴社の掲げる「子どもたちの未来を応援する」というテーマから、特に子どもたちが健康的な食生活を送ることにつながり、楽しく食べ、残食も少なくなるといった食育指導になったのではと考えます。



4. 今後の課題と展望

地域社会に貢献する取り組みとして、幼稚園でできた有機肥料は、菜園で必要な分を除き、園の保護者や近隣の方へ無償配布を予定しています。これらの取り組みを、保護者や

近隣の方に広めていくことで、環境問題に対する理解を深める一助になればと思っています。

食育は、食べ物についての知識・食生活の大切さを学ぶことや健康的な食生活を送るための教育です。また環境教育は、自然環境や地球環境について学び、環境問題に対する理解を深めることで、持続可能な社会を実現するための教育です。



以上のことから食育と環境教育は密接に関連しており、生ごみ処理機を使って有機肥料作り、それを使った菜園や設備の充実は、子どもたちにとって一人ひとりが未来を考え、これからの食生活のあり方を学ぶ一つの機会なると考えています。

生ごみ処理機が動く様子を見学したり、できた肥料を子どもたちと菜園に撒くなど、さらに楽しい食育イベントのひとつとして開催して参りたいと思います。



以上